

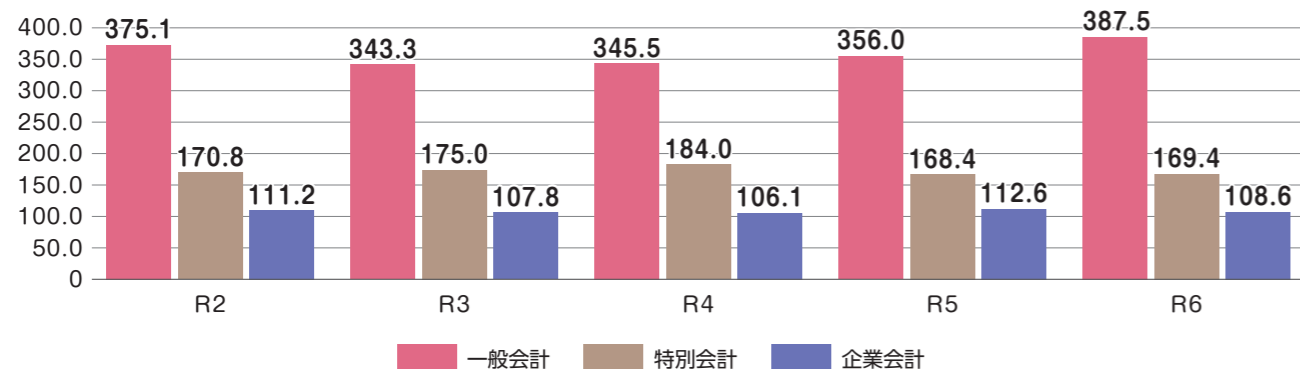
企業会計 総額108億6,423万円

会計名	予算額	
水道事業	収入	11億4,143万円
	支出	16億6,195万円
下水道事業	収入	75億8,701万円
	支出	90億47万円
国民宿舎事業	収入	1億2,955万円
	支出	2億181万円

特別会計 総額169億4,262万円

会計名	予算額
土地取得造成事業	217万円
揖龍公平委員会事業	83万円
国民健康保険事業	83億487万円
後期高齢者医療事業	13億5,990万円
介護保険事業	71億1,155万円
病院事業債管理事業	1億6,330万円

一般、特別、企業会計の予算推移 (億円)

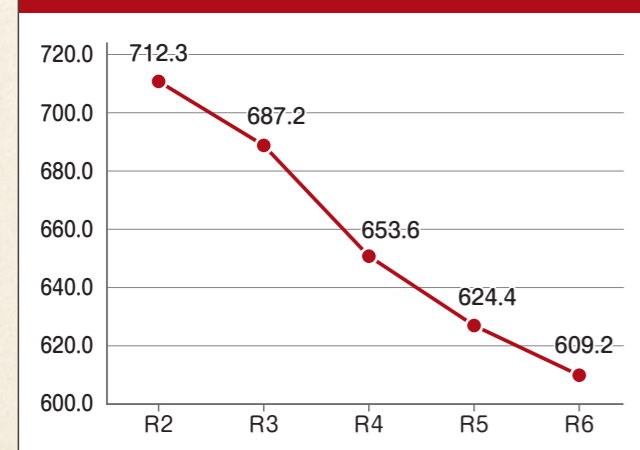


健全な財政運営の維持

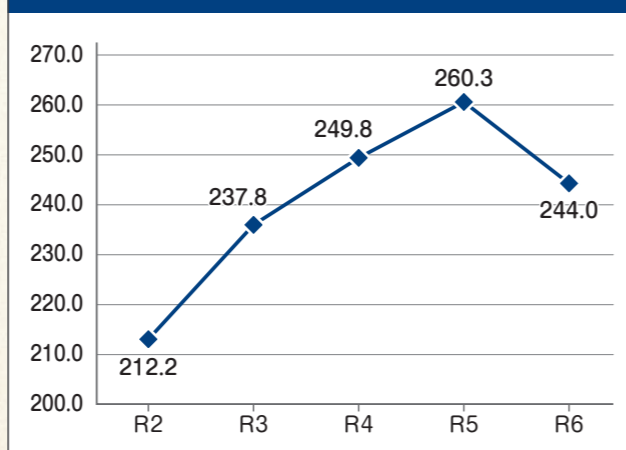
投資的事業（家計で言うところの住宅の建設や車の購入）等の財源とする地方債（家計で言うところのローン）の令和6年度残高見込額は609億2千万円、一方で公共施設整備や財源不足時の備え等のために積み立てた基金（家計で言うところの貯金）の現在高見込額は244億円となっております。

地方債については、過去の借入れの償還が進んでいるため減少傾向にあります。基金については、福祉の充実やより良い教育環境づくり、公共施設の整備のための取り崩しなどにより減少する見込みです。今後も計画的に活用しながら健全な財政運営に努めていきます。

地方債残高 (億円)



基金現在高 (億円)



※いずれも、一般会計、特別会計および企業会計の合算値です。  
※R5以降の金額は見込額です。

令和6年度

当初予算



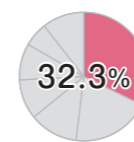
未来応援 住みたいまち たつの  
「次世代につなぐまちづくりへの投資」

予算総額 665億5,685万円  
(対前年度 28億5,500万円の増)

一般会計 387億5千万円  
(対前年度 31億5,000万円の増)

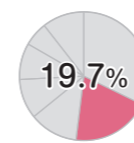
一般会計歳出予算の主な構成

民生費



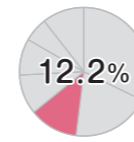
125億3,079万円 市民1人あたり約17万1,385円  
子育て支援施策や高齢者・障害者のための福祉施策などに要する費用

土木費



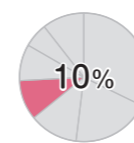
76億3,758万円 市民1人あたり約10万4,460円  
道路の建設・修繕や市営住宅の管理運営などに要する費用

教育費



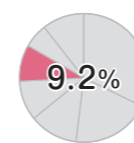
47億4,023万円 市民1人あたり約6万4,833円  
小・中学校の教育や教育施設の維持管理、文化スポーツの振興などに要する費用

総務費



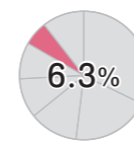
38億6,361万円 市民1人あたり約5万2,843円  
市役所の管理や住民票の発行、デジタル化などに要する費用

公債費



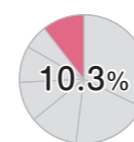
35億7,550万円 市民1人あたり約4万8,902円  
道路や公共施設の建設のための借入金の返済に要する費用

衛生費



24億2,802万円 市民1人あたり約3万3,208円  
予防接種の実施や健康増進事業の実施、ゴミ・し尿の処理などに要する費用

その他



39億7,427万円 市民1人あたり約5万4,357円  
消防団車両の整備や商工業の振興、有害鳥獣対策、市議会の運営などに要する費用

令和6年度予算の重点と主な事業

健康で心豊かに 日々を楽しむまちづくり

- こども家庭センターの設置
- 母子健康事業の充実
- ベビー木育ギフト事業
- 公立保育所・こども園全園主食(米飯)提供開始
- 中学校全校・小学校4校に教育支援センターを設置
- 小中一貫校整備事業
- 人工芝多目的グラウンド整備事業
- 帯状疱疹予防接種助成事業
- 腹部エコー検診を実施
- 高齢者補聴器購入補助事業

未来を見据えた新たなまちづくり

- 龍野IC周辺を中心としたまちづくり
- 龍野西IC産業団地調査事業
- 竜野駅周辺整備事業
- 重要伝統的建造物群保存地区選定5周年記念事業
- 「下川原蔵あかね」リノベーション
- 市ホームページ全面リニューアル
- SNS発信事業
- 播磨新宮駅の通路照明をLED化

安全で安心して 住み続けられるまちづくり

- 地域の安全安心見守りカメラ設置事業
- 人と動物の共生事業
- 消防団員運転免許取得助成事業
- 子ども防災体験学習事業
- 避難所の環境整備
- 排水施設整備事業

※令和6年1月31日現在の人口73,115人をもとに市民1人当たりの額を算出しています。また、円単位未満は四捨五入しています。  
※本ページ内の表中数値については、表示単位未満四捨五入の関係で、合計が一致しない場合があります。